

新山協ニュース

▲ 発行者 井出秀雄

▲ 発行所 新潟県山岳協会

〒940 長岡市学校町3-11-7

藤井

信方

TEL 0258-32-4835

冬山講習会

(雪崩遭難救助講習会)に参加して

新潟県山岳協会 伊藤直



中山講師から熱心に
ビーコンの操作説明を受ける

平成8年度の県山協冬山技術講習会として「雪崩遭難救助講習会」が昨年度にひき続き開催された。会場は大和町大和勤労者体育センター、会期平成9年2月15日(土)16日。講師は昨年に続き中山健生氏(労山中央登山学校雪崩講習会代表)が担当された。

初日15日、県下各地より約50名が集合し、10時45分より講習会が開始された。初めに県山協の今成技術指導委員長より開会の挨拶があり、引き続き午前中の講義が行われた。この中で次のような内容が述べられた。

- ・雪崩は①点発生か面発生か、②乾雪か湿雪か、及び③表層か全層かによって分類される。
- ・特に発生予想が難しくかつ警戒すべきは面発生表層雪崩(湿雪・乾雪とも)である。
- ・面発生表層雪崩の滑り面となるのは積雪内部の弱層であり、積雪表面から見ただけではその存在・状態が判じがた
- い。弱層の厚みは数ミリ〜数センチメートル程であり、サンドイッチ状に上下の積雪層に挟まれている。この層が崩壊することによりそれより上の積雪層が滑落するのである。
- ・弱層とは積雪内で上下の層に対し相対的に弱い層をいい、その雪質には①霜ざらめ雪、②表面霜、③あらられ、④濡れ

ざらめ、⑤広幅六花(無風の時に平行に降り積もる大きな結晶雪)の5種類がある。これらの弱層の生成の条件(気温、日照、風、湿度、表面からの深さなど)を十分に理解し、観察により丈夫な雪質から識別する必要がある。

この後、会場をゲレンデ下のクロカン練習場脇に移し、ビーコンによる雪崩埋没者捜索の実習を初回参加者、二回目参加者に分かれて行った。ここでは、あらためてビーコンの有効性を実感し、その操作方法に習熟しておかなければならないこと、冬山登山者は各自ビーコン(信号電波発信/受信機)、ソナデ棒及びスコップを携行すべきであることを痛感した。

昨年まで行ってきた「スカップアンド コール」はその有効性に疑問があるので今後はやらない。

野外実習を16時半頃終了、再び体育センターにて座学となる。ここでは、雪崩遭難者の救出後の防寒措置を忘れてならないこと、また低体温症への認識と対応がとりわけ重要であること、雪崩遭難はその70%は登山者やスキーヤー自

身が雪面に刺激を与えること
 によって引き起こされるもの
 であること等が述べられた。
 低体温症とは長時間寒冷にさらされる(雪中埋没では30分以上)と、身体の深部温度までも下がってきて重要内臓の機能が低下し、最終的に死に至る寒冷症状である。重症であるとちよっとした刺激で心室細動を引き起こす。低体温症の人に手足マッサージは絶対にしてはならない。歩かせたり、急激に暖めたりするのはいけない。防寒措置をした上で救助者が身体を密着させたり、カイロ等を首、脇の下、そけい部等にのせてるなどして3〜4時間かけ安静にして徐々に加温しなければならぬ。これをせずに救助したものの、搬送途中で死亡の例が相当ある。参加者の自己紹介があり、その後懇親会、いつも通りに盛り上がったことは言うまでもないでしょう。

評議員会開催

4月12日の評議員会で平成8年度事業実施報告・会計報告が承認されました。また平成9年度予算案・事業計画案・規約の一部改正も承認されました。役員改選もおこなわれ、鈴木敏雄会長に替わり、藤井信副会長が新会長となりました。会議資料より一部報告します。

1. 役員名簿

- | | | | |
|-------|--------------------------------|-----|---------------|
| 名誉会長 | 五十嵐篤雄 (下越山岳会) | | |
| 参 与 | 室賀輝男 (長岡ハイク) | 参 与 | 杉原八百樹 (下越山岳会) |
| | 笠原藤七 (JAC越後) | | 望月 力 (秀峰山岳会) |
| | 井口正男 (映彩山岳会) | | 石田国夫 (とーろっこ) |
| | 佐藤一栄 (映彩山岳会) | | 鈴木敏雄 (下越山岳会) |
| | 内藤 修 (直江津) | | |
| 会 長 | 藤井 信 (長岡ハイク) | | |
| 副 会 長 | 今成幸夫 (越稜山岳会)……技術指導・遭難対策 | | |
| | 平田大六 (関川山の会)……国体・海外・中高年・クライミング | | |
| | 土田幸雄 (長岡ハイク)……総務・会報・資格会員 | | |
| | 橋本正己 (高田ハイク)……自然保護・婦人 | | |
| 理 事 長 | 井出秀雄 (映彩山岳会) | 理 事 | 本望英紀 (映彩山岳会) |
| 事務局 長 | 杉本 敏 (長岡ハイク) | | 谷中隆明 (映彩山岳会) |
| 常務理事 | 坂井 厚 (映彩山岳会) | | 木下 力 (新潟山岳会) |
| | 遠藤家之進正和(むささび会) | | 加藤利雄 (JAC越後) |
| | 阿部信一 (新潟山岳会) | | 渡辺富衛 (弥彦山岳会) |
| | 七沢恭四郎 (高田ハイク) | | 稲田春男 (高田ハイク) |
| | 小林由夫 (秀峰山岳会) | | 柏合哲郎 (柏崎山岳会) |
| | 森 庄一 (長岡ハイク) | | 清水迪男 (津南山岳会) |
| | 片桐一夫 (長岡ハイク) | | 横山征平 (関川山の会) |
| | 田邊信行 (下越山岳会) | | 小林重弘 (豊栄山岳会) |
| | 山田智子 (越稜山岳会) | | 五十嵐昇 (下越山岳会) |
| | | | 藤田善思 (高体連) |
| 監 事 | 藤井 洋 (新大山の会) | | 安野正弘 (高体連) |
| | 外山禎一 (加茂山岳会) | | |

専門委員長名簿

- | | | | |
|------|---------------|--------|----------------|
| 総 務 | 田邊信行 (下越山岳会) | クライミング | 稲田春男 (高田ハイク) |
| 指導技術 | 阿部信一 (新潟山岳会) | 海外登山 | 片桐一夫 (長岡ハイク) |
| 遭難対策 | 小林由夫 (秀峰山岳会) | 婦 人 | 山田智子 (越稜山岳会) |
| 自然保護 | 七沢恭四郎 (高田ハイク) | 会 報 | 遠藤家之進正和(むささび会) |
| 中高年 | 坂井 厚 (映彩山岳会) | 資格会費 | 五十嵐昇 (下越山岳会) |
| 国 体 | 森 庄一 (長岡ハイク) | | |

実際の雪崩遭難現場を想定した模擬現場を作った上で、初期動捜索訓練を主に実施した。雪中に完全埋没した場合、15分以内に救出すれば殆ど生存、1時間では生存率半分以下となる。従ってセルフレスキューが原則である。各パーティが、それを迅速に適切に行えるよう普段から予行演

習等していなくては現実の現場では混乱することがこの実習でよく解った。実習は昼食をはさんで14時頃まで行われた後、体育センタリに戻り、まとめの後15時に解散となった。雪崩遭難事故と死亡者を可能な限り少なくすることは、我々登山者の最も大切な責任

の一つであろう。二回にわたる講習を受講して、いままでも自分がいかに雪崩、雪、装備に無知であったか、それ故にいかに危険に對し無防備であったかを思い知らされている。今後も県山協並びに各山岳会において継続してこのような講習会、訓練を開催していく必要を強く感

じている。また、今回の講習に若い層が少なかったことが気になる。この層の人達にこそ最も広めることが必要であろう。終わりにこのような意義ある講習会を企画し、また運営をして下さった県山協、越後三山岳友会並びに関係の皆様

2. 平成9年度 専門委員会事業実施計画

●は協会主催事業

専門委員会	実施期間	事業名・会議名	会場
総務	9. 4. 12 土 9. 4. 27 9. 9. 9. 11. 9. 12. 10. 1. 18 日 10. 1. 18 日 10. 2. 10. 3. 15 日	●評議委員会・理事会 ●理事会（国体選手選考他） ●常務理事会（前後半の事業検討） ●理事会（前後半の行事確認等） ●常務理事会 ●理事会（事業計画等検討） ●新年会 ●関東地区連絡協議会 ●理事会（評議員会に関する事項）	長岡 国体予選会場
指導技術	9. 6. 7~8 9. 6. 21~22 9. 11. 8~9 9. 11. 30	日山協指導委員総会・研修会 ●登山技術講習会・岩登り ●山岳救助講習会 ●指導員研修会 ●冬山講習会	東京渋谷岸記念体育館 新発田市杉滝岩 新発田市杉滝岩 新潟市 下越地区
遭難対策	9. 4月~7月 9. 6. 29 9. 6. 28~29 9. 7. 9~10 9. 4月~10月 9. 10. 1	●遭難防止啓蒙活動（パンフ配布） ●テーピング講習会 日山協遭難対策委研究会議・委員総会 ●全国山岳遭難対策協議会（文部省） ●遭難救助講習会 ●県内登山道の諸調査 新潟県遭難対策協議会	山開きの地元山岳会に依頼 新潟 岩手県 仙台 地元山岳会に依頼 新潟県庁
自然保護	9. 5. 24~25 9. 10. 18~19 9. 10. 25~26	●第24回自然保護指導員研修会 日山協全国自然保護委員会総会 ●第25回自然保護指導員研修会	岩船郡 青森県 栃尾市
中高年登山	9. 9. 6~7 9. 9. 10~12	●第7回新山協「中高年登山教室」 文部省・日山協中高年安全登山講習会	長野県「黒姫山」(妙高高原 泊) 石川県
国体	9. 4. 6 9. 4. 9. 4. 26~27 9. 5. 9. 6. ~ 9. 7. 25~27 9. 8. 13~ 9. 9. 9. 10. 9. 11. 24~29 9. 11. 9. 11. 9. 12. 10. 1. 10. 2. 14~15 10. 1. 24~ 10. 1. 24~	日山協国体委員会総会 ●国体予選会場調査 ●第52回国体新潟県予選会兼新潟県民体育大会 北信越5県代表者会議 北信越5県審判員打合せ会議 ●北信越国体選手合宿 第18回北信越国体 ●第52回大阪国体合宿 競技水準向上ヒアリング 第52回大阪国体結団式 第52回大阪国体 北信越5県連絡協議会 第52回大阪国体反省会 新潟県コーチサミット 県体育協会新年会 ●審判員認定・運営研修会 ●国体予選会場調査 ●第19回北信越国体会場調査	東京岸記念体育館 長岡市 長岡市 福井県 福井県 福井県 福井県 大阪府 新潟県庁 新潟市 大阪府 福井県 新潟市 新潟市 新潟市 イタリヤ軒 上越市国民年金健康センター
クライミング	9. 7. 12~13	Sクライミング講習会（日山協） ●クライミング研修会	丹沢山塊
海外登山	9. 6. 14~15 9. 9. 9. 11. 10. 2. 21~22	日山協国際部総会及び海外遭難対策研究会 ●県山協海外登山研究会 第11回東北地区海外登山研究会 日山協海外登山技術研究会	福岡市 中越地区 秋田市 東京八王子市「大学セミナーハウス」
婦人	9. 6. 中旬以降	●親睦登山青海「黒姫山」	青海町
会報編集	毎月1回	●新山協ニュース第122~133号	5日原稿締切20日発行
資格会費徴収		●資格会費(指導員・審判員・自然保護指導員)の徴収	
50周年記念事業	9. 10. 18~19 9. 7. 26~8. 25	●記念祝賀会 ●記念山行 県内 ●記念山行 海外 ●記念誌の発行	蒜場山（新発田市） メコン河源流 チアジャジマ峰 5930m

3. 規約の一部改正について

- 規約第6条の項中、次の項を次のように改める。
「副会長3名」を「副会長5名」に改める。
(改正の要旨)
各専門委員会の担当副会長を選任し、事業の円滑な運営を図るため。
- 規約第19条に定める別表を次のように改める。(分担金の改定)
(別表)

加盟団体の分担金	分担金の額
加盟山岳会会員数	
20名まで	15,000円
21名より 50名まで	16,500円
51名より 100名まで	18,000円
101名以上	21,000円

加盟団体の分担金	分担金の額
加盟山岳会会員数	
20名まで	20,000円
21名より 50名まで	24,500円
51名より 100名まで	29,000円
101名以上	38,000円

に改める。

(現行)

(改正)

(均等割)(人数割)(計) (均等割)(人数割)(計)

20名まで	15,000	0	15,000	20,000	0	20,000
21~50	15,000	1,500	16,500	20,000	4,500	24,500
51~100	15,000	3,000	18,000	20,000	9,000	29,000
101以上	15,000	6,000	21,000	20,000	18,000	38,000

(改正の要旨)

日山協の年会費272,000円か475,000円と平成9年度から改定される。旅費規定等の制定と併せ、諸費の見直しの必要から。

4. 創立50周年記念特別事業について

- 記念式典
時期、開催地等は今後決定する。
- 記念山行
県内 蒜場山 1,363m
新発田市、飯豊川加治川ダムより
10月18日~19日
海外 中国 チアジャマ峰 5,930m
青海省玉樹藏族自治州
メコン河源流の山群
偵察隊 5月8日(木)~5月23日(金)
本隊 7月26日(土)~8月25日(月)
中国との合同登山隊
日本・新潟県山岳協会
中国・科学探検協会
中国・青海省登山協会
- 記念誌の発行
協会50年史
創立から今日までの協会の歩みを一冊にして刊行。

第2回 パーママークカップ

受付 AM9時~9時30分
開会式 競技 AM9時30分
会場 パーママーク
長岡市西宮内2-1-96

参加資格 5・10C以上のグ

参加費 2,000円(保険料含む)

参加費 2,000円(保険料含む)

・トップロープ方式。ロー

・ルートを4本設定し各ル

設定、合計点数で順位が決定します。1つのルートをもう1度トライできます。
参加申込 ・住所、氏名、性別、電話番号、生年月日、所属団体名を記入の上、下記のいずれかに持参又は FAX願います。電話での申し込みもOK。(参加費は前納願います)
締切日 5月15日

申し込み・問い合わせ

パーママーク

0258(37)1200

FAX 0258(33)1164

井波(GANESH内)

0258(35)5830

稲田春男

0255(36)3958

連絡

今年度分担金を新料金で納入をお願いします。

※銀行振込

第四銀行長岡市役所前支店

普通預金1179492

名義 新潟県山岳協会

※郵便振替

加入者 新潟県山岳協会

口座番号

0065018112040

登山用品専門店

信頼できるパートナー

大新スポーツ

新潟市東堀6 ☎(025)222-3736

事務局の氏名、住所、電話番号と会員名簿・事業計画・会則を、協会事務局まで提出お願いします。
協会事務局 〒940-121
長岡市大積町2-1-735甲
杉本敏方 新潟県山岳協会宛
電話 0258(47)0368